

令和2年1月20日

内閣サイバーセキュリティセンター
重要インフラグループ

Internet Explorerの脆弱性について（注意喚起）

マイクロソフト社製 Internet Explorer に関する脆弱性 (CVE-2020-0674) が公表されたため、影響範囲を十分に確認した上で、必要に応じて回避策の適用等を検討してください。

1 概要

マイクロソフト社から Internet Explorer に関する脆弱性 (CVE-2020-0674) が公表され、攻撃の回避策等が示されました。

本脆弱性は Jscript のスクリプトエンジンにおけるメモリ破損の脆弱性に関するものであり、悪用された場合、リモートから任意のコードが実行される可能性があります。既に本脆弱性を悪用した攻撃が発生しているとの情報があり、影響範囲を十分に確認した上で、必要に応じて回避策の適用等を検討してください。

2 対象ソフトウェア

次のマイクロソフト社製品が対象です。

- ・ Microsoft Internet Explorer 9
- ・ Microsoft Internet Explorer 10
- ・ Microsoft Internet Explorer 11

3 対策

2020年1月20日(日本時間)時点で、マイクロソフト社から本脆弱性を修正する更新プログラムは公開されていません。

そのため、マイクロソフト社の Web ページで案内されている回避策の適用 (jscript.dll へのアクセス制限) や、別の Web ブラウザーの使用を検討してください。ただし、回避策を適用した場合、古いバージョンの Jscript を使用する Web サイトや文書ファイルの閲覧に影響が生じる可能性が考えられます。回避策の適用に当たっては、十分に影響範囲を考慮の上、実施してください。

なお、マイクロソフト社は脆弱性の修正を進めており、月例アップデート(次回は2月12日(水)の予定)のタイミング等で本脆弱性の修正を含む更新プログラムを提供予定とのことです。マイクロソフト社が提供する情報を確認し、修正されたバージョンが公開され次第、速やかに更新プログラムを適用することを推奨します。

参考 URL

- ・ ADV200001 | Microsoft Guidance on Scripting Engine Memory Corruption Vulnerability (マイクロソフト社)
<https://portal.msrc.microsoft.com/ja-JP/security-guidance/advisory/ADV200001>
- ・ Microsoft Releases Security Advisory on Internet Explorer Vulnerability (US-CERT)
<https://www.us-cert.gov/ncas/current-activity/2020/01/17/microsoft-releases-security-advisory-internet-explorer>
- ・ Microsoft Internet Explorer Scripting Engine memory corruption vulnerability Vulnerability Note VU#338824 (米国 CERT/CC)
<https://kb.cert.org/vuls/id/338824/>
- ・ Microsoft Internet Explorer の未修正の脆弱性 (CVE-2020-0674) に関する注意喚起 (JPCERT/CC)
<https://www.jpcert.or.jp/at/2020/at200004.html>
- ・ Microsoft Internet Explorer の脆弱性対策について (CVE-2020-0674) (IPA)
<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20200120-ms.html>